

第 1 章	現代社会	名前:	日 付	No.01

[問題 1]

国際社会の中で世界を一体化する動きが進んでいる。この動きを何というか。

[解答欄]

グローバル化

[解説]

[グローバル化]
世界を一体化する動き

交通や通信技術の発達などにより、大量の人、商品、お金、情報などが国境を越えて容易に移動できるようになり、世界の一体化が進んでいる。これをグローバル化という。

[問題 2]

グローバル化とはどのようなことか。説明せよ。

[解答欄]

大量の人、商品、お金、情報などが国境を越えて容易に移動できるようになり、世界の一体化が進むこと。

[問題 3]

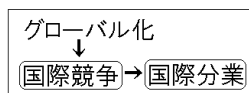
次の文中の()に適する語句を漢字 4 文字で書け。

貿易が拡大すると、国際競争が進む。そして、それぞれの国が競争力のある得意な産業に力を入れ、競争力のないものは輸入するという()が行われる。

[解答欄]

国際分業

[解説]



グローバル化によって商品を簡単に輸出入できるようになると、国内で生産された商品と輸入商品との間、あるいは異なる国から輸入した商品どうしで、どちらが安くて品質の良いものを提供できるかについての国際競争が行われるようになる。また、それぞれの国が国際競争力のある産業に力を入れ、競争力のないものは輸入するという国際分業が進行する。

[問題 4]

次の文章を読んで、各問いに答えよ。

現代は、A 大量の人や商品、お金などが国境を越えて自由に移動できる社会で、世界の一体化が進んでいる。商品の輸出入が容易になると、国産品と輸入品との間で、または輸入品どうしで(B)が行われる。また、各国は競争力のある産業に力を入れて、競争力のないものは輸入するようになり、(C)が進行する。

- (1) 下線部 A の動きを何というか。
- (2) 文中の B、C にあてはまる語句を書け。

[解答欄]

(1) グローバル化	(2)B 国際競争	C 国際分業
------------	-----------	--------

[問題 5]

グローバル化の進展によってかつてないほどに貿易がさかんになり、国際競争も激しくなっている。

国際競争とは貿易で国内産と外国産の製品が、何と何を競っているか。

[解答欄]

製品の価格と品質

[問題 6]

次の文を読んで、後の各問いに答えよ。

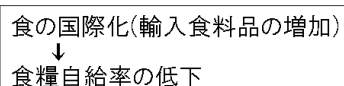
現在、世界では、人、商品、お金、情報などが国境をこえて容易に移動するようになり、①世界の一体化が進んでいる。貿易においては、②それぞれの国や地域が競争力のある産業に力を入れ、競争力のないものは輸入するようになってきており、日本では③食料自給率の低下が問題となっている。

- (1) 下線部①のことを何化というか。
- (2) 下線部②のことを国際何というか。
- (3) 下線部③について、日本の食料自給率が低下している理由を、「外国からの輸入」「食の国際化」という語句を用いて簡潔に説明せよ。

[解答欄]

(1) グローバル化	(2) 国際分業
(3) 食の国際化が進んで、食料品の外国からの輸入が増えたから。	

[解説]

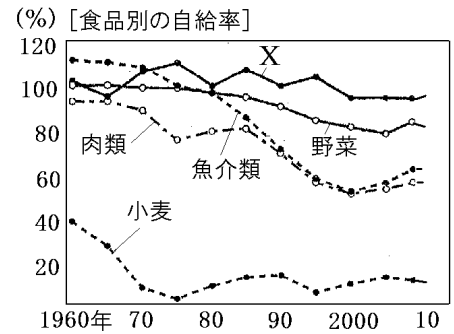


スーパーマーケットに行くとさまざまな国の商品が並んでいるが、これは、航空機やコンテナ船などの発達によって、外国の商品を昔より速く大量に運べるようになったためである。また、輸入品にかかる関税が引き下げられて、外国の商品を安く買えるようになったためである。食料品も外国からの輸入が増えて食の国際化が進んでいるが、これにともなって、食糧自給率の低下という問題がおこっている。食糧自給率が低い場合、世界的な不作や戦争などの場合に、食料を安定して確保できなくなるおそれがある。

[問題 7]

右のグラフについて、次の各問いに答えよ。

- (1) グラフの X は何か。
- (2) 右のグラフは、日本で食べる食料のうち、国内でまかなう分がしめる割合を表している。これを何というか。漢字 5 字で答えよ。
- (3) (2) は上昇傾向にあるか、低下傾向にあるか。
- (4) (3) によって生じる問題を 1 つあげよ。



[解答欄]

(1) 米	(2) 食糧自給率	(3) 低下傾向にある。
(4) 食料を安定して確保できなくなるおそれがあること。		

[問題 8]

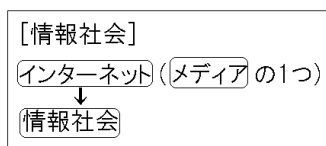
次の各問いに答えよ。

- (1) 世界的に普及した、パソコンなどを通信回線によって結んだ情報ネットワークを何というか。
- (2) (1)や携帯電話の発達により()社会になったといわれている。()にあてはまる語句を漢字 2 文字で答えよ。

[解答欄]

(1) インターネット	(2) 情報
-------------	--------

[解説]



1990 年代に入ってから、情報通信網とコンピューターの発達によってインターネットという世界的情報のネットワークが急速に普及した。情報通信技術の発達によって情報化が進展したが、このような社会を情報社会という。情報を得るために使われる、新聞、テレビ、ラジオ、インターネット、携帯電話などをまとめてメディアという。

[問題 9]

次の各問いに答えよ。

- (1) インターネットを使った買い物を何というか答えよ。
- (2) 右の写真のカードは、現金の代わりにお金として使用できるデータが書きこまれている。この現金の代わりになるデータを何というか。



[解答欄]

(1) オンライン・ショッピング	(2) 電子マネー
------------------	-----------

[解説]

[情報化による変化の例]

オンライン・ショッピング

電子マネー

情報化の進展にともない生活が便利になった。例えば、電気製品を買いたいと思ったとき、インターネットを使って各社の製品の価格・性能・評判などを簡単に調べることができる。

「価格.com」などのホームページを見れば、その製品の最安値の通信販売サイトを知ることができる(その値段は、大型電気量販店よりも、さらに何割も安いことがある)。

購入を決めたら、最安値の通信販売店のホームページ上で申し込みを行えばよい。

このような、インターネットを使った買い物をオンライン・ショッピングという。

また、現金を持ち歩かなくても商品を購入できる電子マネーも使われるようになった。